

介護職員等処遇改善加算に係る「見える化要件」

介護サービス みどり

当事業所では、介護職員等処遇改善加算を取得し、介護職員の処遇改善及び職場環境の向上に取り組んでおります。

●取得加算 介護職員等処遇改善加算（Ⅰ）ロ

●職場環境等要件に関する主な取組

【入職促進に向けた取組】

- ・法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化

事業所内のミーティングで、法人の理念や方針を発信し、情報を共有している。

- ・他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築（採用の実績でも可）

年齢を問わず、他業種からの転職者、未経験者の採用も行っている。

【資質の向上やキャリアアップに向けた支援】

- ・働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対するユニットリーダー研修、ファーストステップ研修、喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅社員に対するマネジメント研修の受講支援等

各種研修受講については、職員を選抜し、計画的に育成を行っている。また、勤務シフトの調整等を行うことにより、職員が研修や講習を受けやすい環境を整えている。

- ・上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方に関する定期的な相談の機会の確保

年1回以上、上位者との面談機会を設定し、働き方等に関する希望や相談の機会を設けている。

【両立支援・多様な働き方の推進】

- ・職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への返還の制度の整備

家庭の事情等により、働き方に関する希望を考慮した勤務シフトを作成している。また、急なシフト変更への対応を柔軟に行う体制を整えている。

- ・有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている

年1回以上、上位者との面談機会を設定し、働き方等に関する希望や相談の機会を設けている。

【腰痛を含む心身の健康管理】

- ・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、職員に対する腰痛対策の研修、管理者に対する雇用管理改善の研修等の実施

職員の身体の負担軽減のため、事業所内で外部講師を招き、腰痛対策の研修を行っている。

- ・事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備

緊急時や事故対応のマニュアルを整備している。

【生産性向上（業務改善及び働く環境改善）のための取組】

- ・現場の見える化（課題の抽出、課題の構造化、業務時間調査の実施等）を実施している。

定期的なミーティングを開催し、情報交換や課題の抽出等を共有している。

- ・業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている。

各業務のマニュアルを整備し、業務負担の軽減に努めている。

- ・介護ソフト（記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの）、情報端末（タブレット端末、スマートフォン端末等）の導入

職員の記録業務の省略化を図るため、介護記録システムを導入している。

【やりがい・働きがいの醸成】

- ・ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善

定期的に事業所内のミーティングを開催し、職員間でのコミュニケーションをとる共に、個別に話をする機会を設けている。個々の職員の気づきや勤務環境、ケア内容について聞き取り、改善に繋げている。

- ・ケアの好事例や、利用やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供

ミーティング内で、利用者や家族、他の事業者からの謝意等の情報を共有している。